

生産資材部

肥料・農業技術セミナーの開催！
ドローンを活用した農薬散布や雑草イネ防除に関する講演など

J A 全農福島では、2月12日(水)、福島県農業総合センターにおいて「令和元年度 肥料・農業技術セミナー」を開催しました。このセミナーは近年話題となっているドローンを活用した防除や、県内で徐々に問題化しつつある「雑草イネ」防除の認識と理解を深めることなどを目的に開催され、県内 J A 営農・購買担当者、県関係者など、約 100 名が参加しました。

開会に先立ち、J A 全農福島 生産資材部 若林忠部長より「現場の課題に対応した防除策や新しい技術、新剤の特徴などをセミナーの中で習得し、今後の営農指導や窓口業務に役立てて欲しい」と主催者のあいさつがありました。

長より話題提供がありました。ドローンによる水稲や大豆の防除事例や、今後、現場ではドローンが無人ヘリと同等の防除手段になる見通しであることなどが示されました。

第2部では、新規除草成分の「エフィード(フエンキノトリオン)」配合水田除草剤、「サイラ(シクロピリモレート)」配合水田除草剤の紹介について、J A 全農福島 生産資材部 肥料農薬課 鈴木俊夫担当課長より説明がありました。



セミナー受講の様子



ドローン活用について説明する岩淵課長



新剤紹介をする鈴木担当課長



雑草イネ防除について説明する今泉主任研究員

第3部の基調講演では、「雑草イネの特性と防除技術」と題して、農研機構 中央農業研究センター 生産体系研究領域 雑草制御グループ 今泉智通主任研究員より、県内でも徐々に問題化している雑草イネの特性や防除方法について説明がありました。その後の基調報告では、「福島県内における雑草イネの発生状況」と題して、福島県農業総合センター 作物園芸部

稲作科 渡邊和弘主任研究員より県内での発生推移や発生時の蔓延を防ぐための早期発見と早期防除の必要性などが示されました。
J A 全農福島では、今後も県内で問題化することが予想される農作物の栽培上の課題に対して、県内 J A 及び関係者と現状認識や解決策を共有しながら取り組んで参ります。合わせて、新たな技術や新しい肥料・農薬・資材についても積極的に発信して参ります。

3月にお届けする材料を使用したレシピです

J A ふれあい食材
おすすめ
レシピ

いかだんごのチリソース炒め



●材料は 1 人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にあるお好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・いかだんご..... 6個
- ・長ねぎ..... 1/3本
- ・にんにく..... 1片
- ・生姜..... 10g
- ・レタス..... 2枚
- ・サラダ油..... 大さじ1
- ・ケチャップ..... 大さじ2
- ・豆板醤..... 小さじ1/2
- ・酒..... 大さじ1/2
- ・しょう油..... 大さじ1/2
- ・砂糖..... 小さじ2
- ・鶏ガラスープ..... 50g

作り方

- ①いかだんごは耐熱皿にのせて水を少量かけ、ラップをして電子レンジで約4分加熱し、水気を拭き取る。
- ②長ねぎ、にんにく、生姜はみじん切り、レタスは 5mm幅に切って水にさらす。
- ③フライパンにサラダ油を入れて熱し、長ねぎ、にんにく、生姜を中火で1分炒め、①と混ぜ合わせた A を加え、中火で 3 ～ 4 分炒め合わせる。
- ④器に水気を切ったレタスと③を盛る。

今月の主な行事予定

3月4日 ～5日	畜産部	和牛子牛セリ
3月6日	畜産部	和牛成牛セリ
3月10日 ～11日	米穀部	あがらんしょキャンペーン in 沖縄
3月13日	畜産部	J A グループ福島酪農協議会 役員・幹事会

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

3月2日	燃料部	免税軽油について
3月3日	畜産部	営農相談室
3月9日	J A ライフケアセンター	配置家庭薬について
3月10日	生産資材部	営農相談室
3月16日	燃料部	安全化システムについて
3月23日	畜産部	2019年度の福島牛販売フェア を振り返って
3月30日	米穀部	令和元年度農産物検査員育成 状況について

訂正とお詫び

JA ぜんのうふくしま 2 月号『表紙(目次)』掲載に誤りがありません。深くお詫び申し上げます。

福島発のキュウリビズ愛情込めてキュウリ栽培大作戦表彰式
誤：[燃料部] → 正：[園芸部]

東北地方の長期予報

<予想される向こう 1 か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は、高い確率 80%です。降水量は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに 40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに 40%です。東北日本海側の降雪量は、少ない確率 70%です。

週別の気温は、1 週目は、高い確率 80%です。2 週目は、高い確率 80%です。3 ～ 4 週目は、高い確率 60%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

2月29日～3月28日				
【気 温】東北地方	10	10	80	
【降 水 量】東北日本海側	40	40	20	
【降 水 量】東北太平洋側	30	30	40	
【日照時間】東北日本海側	20	40	40	
【日照時間】東北太平洋側	40	30	30	
【降 雪 量】東北日本海側	70	20	10	

<気温経過の各階級の確率(%)>

2月29日～3月6日	10	10	80
3月7日～3月13日	10	10	80
3月14日～3月27日	10	30	60

凡例： 低い (少ない) 平年並 高い (多い)
(仙台管区気象台 発表)

編集後記

3月は旧暦名で弥生(やよい)といいます。意味は、草木がいよいよ生(お)い茂る月(「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が変化して「やよい」となったとする説が有力です。

春の草木と言えば、梅の花が思い浮かびます。福島市渡利の花見山ではロウバイが見ごろで、ハクバイ、コウバイと咲きほこり、その後もヒガンザクラやソメイヨシノ、ハナモモと5月上旬まで花のリレーが続きます。また、うぐいすは春告げ鳥ともいわれ、3月になると鳴き始めます。

いよいよ、本格的な春が始まり、春の農作業も佳境に入っていきます。農家の皆さん、体に気を付けて農作業に取り組んでください。